

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型事業所 OhanaCo		公表日	2025年 3月 28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	2		長期休みなど利用者が多い時には狭く感じることもある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	2		長期休みなど利用者が多い時には人が足りないと感じることもある こどもの状態等で職員が足りない日がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	1		動ける子への安全の配慮を引き続き検討していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		毎日の清掃と週に1度の床拭き、大掃除をしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12		発達時や体調が悪化時は別室で対応できるようにしている 食事など集中できるよう必要に応じて別室対応している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11	1		利用者さんについて話し合うことは多いが、業務改善についてはあまり話せていない印象
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	改善してほしいことや不安なことは相談できる業務内で気になることがあれば時間を作って情報共有できている カンファレンスをしている	職員の意見交換や話し合う場を定期的に設けてほしい
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	4		第三者による外部評価を行っているか分からない 評価結果の周知はするが、業務改善につながっているかわからない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12		研修の案内があり希望すれば参加できる	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12		いろいろな研修の案内があり、個人で選択して受講することができる	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12		定期的にモニタリングや支援計画の修正を行っている 保護者の意見も反映し作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12		職員のグループラインに、支援追加や共有してほしいことはそこで共有している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12		五領域に沿って目標設定や評価をしている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 多機能型事業所 OhanaCo 公表日 2025年 3月 28日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	3		保育士に任せきりになっていることがある 主に保育士が行っている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12			季節や年齢に応じて工夫しているが、もっと固定化しないよう工夫が必要だと感じる
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	3	その日の活動内容や利用者の状態に合わせるように話し合っている	LINWORKSでは必要事項などの発信はされているが、全員揃っての打ち合わせができていないので行ってほしい 送迎の時間やスタッフの人数の都合で打ち合わせができていない
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	4	・問題が起きた時や支援に悩んだ時は、話し合いを行い共有し改善策を講ずるようにしている ・送迎時間がバラバラなので業務終了後はできないが、朝礼やLINWORKSなどで共有している ・支援の内容の変更等がある時はその都度伝達し共有している	多忙でできない時もある 送迎の都合上できていない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12		全体の記録とリハビリの記録を記載している	
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12		半年に1回モニタリングを評価している 多職種で連携し、適切なケアを検討している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	10	2	組み合わせた支援の活動プログラムを立案している	地域交流の機会の提供はできていない
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	1	担当者や管理者・主任が参画している	すべての児童の担当者会議等が行われているか 認識不足
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12		学校と送迎時に家族に言われたことや、学校であったことを共有している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12		サポートブックを作成し情報共有している	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	12		必要に応じて情報提供している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	7	近隣の放課後等デイサービスとの交流がある	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	2	担当者会議等を通して情報共有している	把握できていない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	4			

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型事業所 OhanaCo	公表日	2025年 3月 28日
------	-----------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	1		丁寧な説明が行えているか認識不足
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12			
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12			
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		管理者を通して相談されたことを情報共有し可能なことは改善や助言を行うことができる 家庭訪問を行い悩みなど聞く機会がある	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	11	1	マルシェやBBQなど家族同士が交流する機会があった	保護者同士で交流する機会があればいいと思う
	41 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		スタッフ間で話し合い、改善できることは対応を考えている	
	42 定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12		HUGを使用し活動の内容や写真を載せている 毎月おたよりを配布している	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12		写真など公開する際には他の児が写っていないか Wチェックを行っている	
	44 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12			
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	7		
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12		定期的に火災避難訓練・地震避難訓練を実施し、おたよりで家族に知らせている	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12			
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12			
	49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	1	該当なし	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12			
	51 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12		プリントを配布している	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12		危険なことがあった際は話し合いをして対策を考えている レポートを記入し全員読んでいる	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12		虐待研修をして情報共有している	
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12				